（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表　令和7年12月実施

○事業所名	こだま			
○保護者評価実施期間	2025 年 12 月 1 日	～	2025 年 12 月 29 日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	7 名	（回答者数）	6 名
○従業者評価実施期間	2025 年 12 月 1 日	～	2025 年 12 月 29 日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5 名	（回答者数）	5 名
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 12 月 30 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こだまでは、児童一人ひとりの特性や気持ちに寄り添い、その子に合った支援を大切にしています。日々の関わりの中で小さな変化や成長を丁寧に捉え、無理のない目標設定と関わりにつなげることで、安心して過ごしながら力を伸ばせる環境づくりに努めています。	日々の活動や子どもの様子を記録し、職員間で共有することで、支援の視点や対応が統一されるよう努めています。情報を共有することで、どの職員が関わっても安心できる支援につながるよう意識しています。	支援のねらいや関わりの意図をより明確にし、職員全体で共通理解を深めていきます。支援の方向性を整理することで、より一貫性のある支援の提供を目指します。
2	保護者の皆さまとの連携を重視し、日々の様子や気づきを共有しながら支援を進めています。家庭での様子を踏まえた関わりを行うことで、事業所と家庭が同じ方向を向いて子どもの成長を支えられるよう心がけています。	子どもが安心して過ごせるよう、声かけの仕方や関わる距離、環境の整え方に配慮しています。不安や戸惑いが出やすい場面でも、落ち着いて過ごせるよう、日々の関わりを工夫しています。	発達特性や行動理解などの専門的な知識を深めるため、研修や学びの機会を充実させていきます。職員が自信をもって支援に取り組めるよう、継続的な学びを大切にします。
3	職員は日々の支援を振り返りながら、「この関わりでよかったか」「より良い方法はないか」を話し合い、支援内容を柔軟に見直しています。子どもの姿に応じて支援を調整し続ける姿勢を大切にしています。	成功体験を積み重ねられるよう、活動の難易度や進め方を調整しています。「できた」「楽しかった」と感じられる経験を大切にし、子ども自身の自信につながる支援を心がけています。	子どもの成長や支援の成果を、保護者の皆さまに分かりやすくお伝えできるよう工夫していきます。日々の様子を丁寧に共有し、安心して預けていただける事業所を目指します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の経験年数や得意分野に差があるため、支援の進め方に違いが出てしまうことがあります。支援の質をより安定させることが、今後の課題の一つです。	経験や知識の差が、支援のばらつきにつながっている可能性があります。共通の理解を深める必要があると考えています。	支援の基本的な考え方や対応方法を整理した資料やマニュアルを整備し、職員間で共通理解を図っていきます。
2	専門的支援について、十分な自信を持てない職員がいる点を課題と捉えています。知識や経験を深める必要性を感じています。	支援の考え方や対応方法が十分に整理・共有しきれていない点が、課題の一因となっています。	定期的なケース検討や振り返りの場を設け、職員同士が学び合える機会を増やしていきます。
3	日々の業務の中で、支援を振り返ったり検討したりする時間を十分に確保できないことがあります。支援の質向上のための時間づくりが課題です。	時間や人員の制約により、職員同士で話し合う機会が限られていることも要因の一つです。	職員が安心して意見を出し合える環境を整え、支援の質の向上につなげていきます。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果　令和7年12月実施

事業所名	こだま

公表日　2025 年　12 月　29 日

利用児童数　8 名　　回収数　86%（6/7家庭）

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5		1		過ごしやすいそうです。（子）	活動内容や人数によっては狭く感じられる場面があった可能性も受け、今後は、活動に応じたスペースの使い分けや環境調整をより意識するとともに、活動の様子が伝わるよう情報発信にも工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6				先生方が多いので安心しています。	今後も、子ども一人ひとりに丁寧に関われる体制を大切にし、安全面や安心感に配慮した支援を継続していきます。また、状況や活動内容に応じて配置を工夫し、より質の高い支援の提供に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			1		活動の意図やねらいが十分に伝わっていない場面もあると受け止めています。今後は、子どもの様子や発達段階に応じて活動内容を見直しながら、プログラムの工夫や目的がより分かりやすく伝わるよう情報発信にも努めていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1		2	たまに、学校の（支援級の）友達と遊んでいます。	地域との交流については、今後も地域資源とのつながりを意識した取り組みを検討するとともに、実施した際にはその内容が伝わるよう、活動の様子や目的を分かりやすくお知らせしていきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1	参加しようと思っています。	家族支援や情報提供については、まだ十分に伝わっていない点や、実施機会が限られている現状も受け止めています。今後は、１月に予定している保護者や地域の方を対象とした情報提供の機会をはじめ、家庭での関わりに役立つ内容を継続的にお伝えできるよう取り組んでいきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1		1	これから行われると思います。	面談や子育てに関する助言については、実施の頻度や分かりやすさに課題があると受け止めています。今後は、事前に予定を確認しやすいフォームを活用するなど、面談の機会を計画的に設け、より細やかに家庭と連携できる体制づくりを進めていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1		3		現時点では限られた取り組みとなっていますが、今後は保護者会や交流の機会について検討を進めるとともに、きょうだいも含めた関わりの場づくりや情報提供の工夫を行い、家族全体を支える支援の充実を目指していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		1		今後は、事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対応に関する各種マニュアルについて、保護者の方により分かりやすくお伝えすることを重視していきます。あわせて、発生を想定した訓練の実施状況についても共有方法を工夫し、安心して利用していただける体制づくりを継続して進めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1		3		今後は、非常災害の発生を想定した避難訓練や安全確保の取組について、計画的に実施するとともに、その内容が保護者の方にも分かりやすく伝わるよう工夫していきます。訓練を通して職員の対応力を高め、安心して利用していただける体制づくりを進めていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	5			1		今後は、こどもの安全を確保するための計画や取組について、保護者の方により分かりやすくお伝えすることを大切にしていきます。引き続き、安全の確保を最優先に支援を行うとともに、日々の取組や考え方を共有し、安心して利用していただける事業所運営に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果　令和7年12月実施

事業所名	こだま

公表日　2025 年 12 月 29 日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	2			運動スペースの確保が課題になっています。お子様らの特性へ配慮し、活動するスペースの整備を行っていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3			事務スペースの確保や玄関回りのバリアフリー化など設備が十分でない箇所もあり、今後改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	2		日々、清掃等に気を配り、お子様らの快適さを考慮した動きができています。	活動にあわせた空間の設定が甘い場面がありました。改善を重ねていき、適切な環境設定を行えるよう配慮していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2		狭いながらも工夫した環境づくりができています。	空間がひとつなので、静と動の活動時に空間分けが難しい場面がありました。利用増加に向けて、個別活動のためのテーブル等の増設していく予定です。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			定期的な面談を設けて、保護者様からのご意見をいただける機会を多く設定しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	1		今後は第三者による業務改善などの相談を設けていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			基本的な療育的プログラムに加え、季節を感じられる行事活動を設けています。	保護者様へ活動内容が伝わりやすい方法を検討し、実施してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	1		職員の出勤希望による調節や学校予定の変更による支援時間の延長等により、事前打合せや反省がその日で必ずできていない場面もありました。当日に難しい場面では、前日もしくは後日に必ず行える体制を整えていき、より良い支援につなげていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	3	1	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			余暇活動や個別活動にて、自己選択ができる活動も積極的に取り組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	1		１年生の児童は不在であり、就学前からの通所が2026年４月からとなるため実施できておりませんでした。今後実施予定です。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		2	3		現在、卒業生がいないため、まだ実施できておりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	2	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1		地域のお子様らとの交流機会もあり、今後も積極的に行っていく予定です。	今後も定期的に地域の方に向けたイベントを実施していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5				
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		面談や連絡をとりながら、ご家庭との情報共有やアドバイスができる機会を今後も提供していきます。	来年１月より保護者様や地域の方に向けた研修を実施する予定です。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	1		父母の会の実施はしていませんが、ご家族が参加できる行事を計画し、参加できる場を設けています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			地域の町内会と様々な連携を計り、イベントなどには来所いただいています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3			マニュアルは作成していますが、徹底した告知や指導をさらに図っていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	4			定期的な避難訓練等を今後実施する予定です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	1			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5				ミーティング内にて情報交換を行い機会がありましたが、今後はさらに職員全員へ定めた用紙への記入を徹底していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5				
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			職員全員により実践的な模擬訓練を今後行っていきます。